

第3期（2018度）の事業報告書

（2018年12月1日から2019年11月30日まで）

特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都

1 事業の成果

(1) フードバンク事業

本事業は京都市、公益財団法人京都オムロン地域協力基金、公益信託京都ライオンズ基金や企業、市民から寄せられた寄付金によって実施した。

- ①食品提供者 法人団体42 個人送付59名 フードドライブ59回と広がってきた。
- ②食品取扱量 21.6t（昨年対比14%増加）
- ③食品届け先 48団体（食のセーフティー事業分含む） 延べ利用者は18,042名。

(2) フードバンクこども支援プロジェクト

第一回3次出荷京都市1小学校150世帯、八幡市800世帯以上の案内を2018年10月から案内を出しその内申込のあった185世帯へ2018年12月22日に出荷した。

第二回1次・2次出荷 京都市6小学校区 344世帯 八幡市754世帯へ案内を出し、そのうち申込のあった237世帯へ夏休みの7月20日と8月10日に出荷した。

(3) 食のセーフティーネット事業

従来フードバンク活動の一環として取り組んでいた緊急支援を公益財団法人公益推進協会ダニエル・ブレイク基金の助成を受け9月より別事業とし独立させた。本年は13の行政や団体と協同し取り組み延べ238名の方々へ1.7トンの食品支援を行った。

(4) なくそう食品ロスキャンペーン

食品ロスの削減の市民への認知を広げるため公益財団法人京都市環境保全活動推進協会から助成を受けラジオキャンペーンや小中学校への食品ロス削減のための出前授業用のパンフを制作した。（出前授業は次期からの取り組みになる）

(5) フードバンクこども支援事業

当団体が取り組む子ども支援（1）（2）などで実施する事業の基盤システム作りのため社会福祉法人京都府共同募金会から助成を受け設備備品を整えた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1)フードバンク事業	・食品関連企業などや団体、市民から食品を寄贈して頂き、その食品を福祉施設や福祉団体、生活困窮者支援団体等へ提供する	(A)週2回～3回 (B)京都府内・滋賀県・大阪府 (C)25名	(D)食品関連企業・福祉施設及び団体・生活困窮者支援団体・行政・社会福祉協議会、「こども食堂」等 (E)延べ18042名	1294

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
(2)こども支援プロジェクト	・就学援助受給世帯の内、希望される世帯に夏休み2回、冬休み1回宅配便で直接食品を届ける。(第1回は	(A) 12月22日 7月20日 8月11日 (B)京都市6小学校 八幡市8小学校の就学援助受給世帯 (C)70名(延べ)	(D)第1回京都市1小学校区36世帯 八幡市149世帯 第2回京都市6小学校区79世帯 八幡市8小学校区157世帯 (E)第1回626名 第2回938名	5183
(3)食のセーフティーネット事業	・行政の福祉窓口や社会福祉協議会、訪問介護事業所などからの要請に応じて支援食品を送付する	(A)通年 (B)宇治槇島の倉庫から京都府内のパートナー団体に送付 (C)5名	(D)京都府内の生活困窮世帯81世帯 (E)140名	155
(4)なくそう食品ロスキャンペーン	・メディアでの①食品ロス削減キャンペーン実施と②小中学校での食品ロス削減のための出前授業用パンフ制作	(A)①7月～10月 ②10月 (B)①KBS京都本社 岡崎公園 ②サテライトオフィス (C)①1名 ②2名	(D)①ラジオリスナー ②次年度用のため未配布 (E)①不明 ②次年度用のため未配布	468
(5)フードバンクこども支援事業	・こどもを支援する団体に食品支援をするためのシステム作り	(A)通年 (B)サテライトオフィス、槇島SY (C)1名	(D)(1)(2)の受益世帯 (E)9156名	569
(6)災害備蓄食引取販売事業	実施しなかった			



Annual Report 2019
3期：2018.12.1～2019.11.30



特定非営利活動法人 **セカンドハーベスト京都**

〒605-0018 京都市東山区三条通大橋東2丁目下る巽町442番地の9 京都市東山いきいき市民活動センター
Tel:075-601-2100 Fax:075-320-3765 E-mail:info@2hkyoto.org <https://www.2hkyoto.org>



特定非営利活動法人
セカンドハーベスト京都

はじめに

現在、京都府内では、安全に食べられるのにもかかわらず廃棄処分(食品ロス)となっている食品が13万トン以上発生しているといわれています。そのうちフードバンクが扱うことのできる食品は、少なめに見積もってもおそらく数千トンはあると思われませんが、食品のままで有効利用されているのはわずか40トンにも満たないのが現状です。

このような“もったいない”状況がある一方で、こどもの貧困率は7人に1人——単純計算すると京都府内で11万人以上のこどもたちが「相対的貧困」状態にあります。相対的貧困とは、世帯の所得がその国の等価可処分所得の中央値の半分に満たず、今の日本社会で当たり前と思われている生活ができない状態です。

実際、夏休みなどの長期休暇には、普段は公的支援がある学校給食がなくなるため、十分な食事を摂ることができず、休み明けに痩せて登校してくるこどもたちがいます。あるシングルマザーは「毎日ダブルワークをして、一生懸命頑張っているにもかかわらず、こどもの体重が減っていた。とても辛かった」と話してくれました。

こうした人々を支えたい!とスタートした私たちセカンドハーベスト京都(以下、2HK)は、今期、設立から丸4年を迎えました。フードバンク活動やこども支援プロジェクトを通して支えることができるのは、府内全体から見ればまだまだ僅かですが、おかげさまで少しずつ支援の輪が広がりつつあると実感しています。

豊かな大河も、はじめはほんの小さな水脈です。2HKの活動も、やがてはそうように広がっていくと信じて、来年度も一步一步積み重ねてまいります。これまで食品、資金、時間のご支援をいただきました皆様には心から感謝申し上げますとともに、引き続き活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人
セカンドハーベスト京都
理事長 **澤田 政明**

活動概要

2HKは、「食品ロス削減とフードセーフティネットを両立させる社会インフラのひとつになること」をミッションとして、2015年12月に団体設立、2016年12月に法人設立しました。第3期となる今年度は、設立以来実施している「フードバンク事業」、2年目を迎えた「こども支援プロジェクト」に加え、従来はフードバンク活動の一環として行っていた緊急支援を「食のセーフティネット事業」として独立させました。

フードバンク

デリバリーチームでは、母子生活支援施設や福祉施設への定期配送、こども食堂や児童擁護施設などへの臨時配送を行っています。フードドライブチームでは、スーパーマーケットでの定期開催、飲食店・事務所への常設設置、地域イベントなどへのブース出展を行っています。



こども支援プロジェクト

学校給食のない長期休暇中(夏休み、冬休み)に、就学援助受給世帯(準要保護)の希望者に対して食品を直接送付するプロジェクトです。2年目の今年度は、京都市・八幡市の237世帯に夏2回、冬1回の計3回送付を実施しました。



食のセーフティネット

生活困窮者のうち食の支援を必要とする人に対して、行政や支援団体を通じて緊急支援食品を提供しています。従来はフードバンク活動の一環として行っていましたが、ニーズの拡大などを受け、今年度から別事業として独立させました。

① フードバンク【デリバリー】

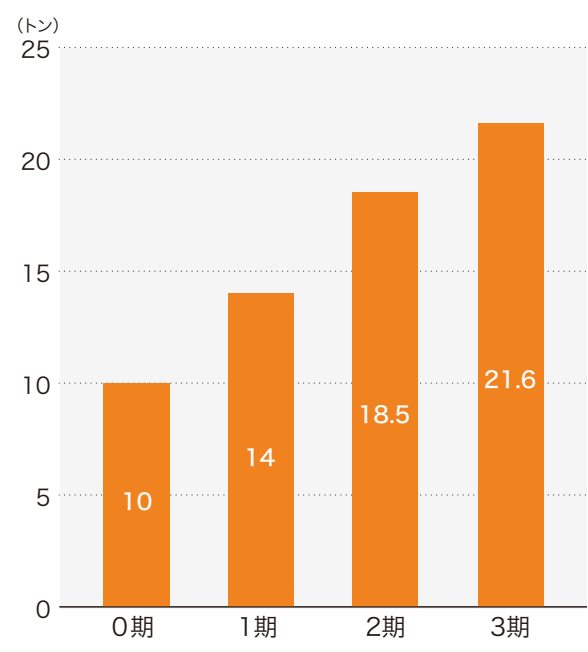


食品提供者

フードバンク事業は、京都市、公益財団法人京都オムロン地域協力基金、公益信託京都ライオンズ基金や、企業・団体・個人の皆様からの寄付金、寄贈食品によって実施しました。このうち食品の提供は、法人44(一般企業11、食品関連企業8、宗教団体4、行政3、医療関連法人2など)個人59名の皆様にご協力いただきました。

食品取扱量

年間の食品取扱量は21.6トンと、前年度に比べ約14%増加しました。



食品配送先

京都府内をはじめ、滋賀県、大阪府の計48団体に、週2〜3回の頻度でデリバリーを行いました(食のセーフティネット事業の配送先を含む)。延べ利用者は18,042名に上りました。

分類	件数
DV被害者支援施設	1
フードバンク団体	2
行政	6
生活困窮者支援団体	4
こども食堂	16
児童擁護施設	6
自立援助ホーム	1
社会福祉協議会	4
生活支援施設	2
母子生活支援施設	3
地域包括支援センター	1
訪問介護事業所	2
計	48



② フードバンク【フードドライブ】



定期開催型

京都生活協同組合様では、毎月第1土曜日にフードドライブを定期開催し、食品提供にご協力いただいています。今年度は実施店舗が2店→7店と大幅に拡大しました。



コープ醍醐石田店



フードドライブで集まった食品

常設型

店舗や事務所内にフードドライブBOXを常時置いていただく常設型。今年度は新たに2拠点が加わり、計4拠点となりました。



喫茶・洋食 涼風



株式会社ナノレーディング

イベント出展型・協力型

年月日	イベント名	会場
2018.12.16	岡崎フリーマーケット	岡崎公園
2019. 3. 2	左京ふれあいecoフェスタ	左京区総合庁舎1階
2019. 3. 3	岡崎フリーマーケット	岡崎公園
2019. 3.10	エーコと伏*2019*フリーマーケット	伏見区役所1階ホール
2019. 5. 5	おさがり広場ともっぺん広場	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
2019. 6. 2	ふれあいまつり	かしのき苑 1階やすらぎホール
2019. 7.13	北白川学区リユース市	北白川児童館
2019. 7.27	川東ふれあい夏まつり	川東自治連合会集会所
2019. 9. 7	吉田区民夏まつり	第四錦林小学校
2019. 9.22	北区ECOまつり	京都市立鷹峯小学校・体育館
2019. 9.28	錦林児童館リユース市	錦林児童館
2019. 9.28	岡崎公園フリーマーケット	岡崎公園
2019. 9.29	KBS京都ラジオイベント「京都岡崎であい・いきいきパーク」	岡崎公園
2019.10. 5	マルトシマルシェ	株式会社マルトシ珈琲
2019.10.16	元町小学校運動会	元町小学校
2019.10.20	修二学区一斉清掃	修学院第二小学校西門付近
2019.11.10	せいか社協フェスタ2019	かしのき苑 1階ボランティアセンター
2019.11.16	第三回親子まつり	葵小学校体育館
2019.11.17	せいか祭り	ピノスけいはんな駐車場内
2019.11.17	下鴨秋まつり	下鴨小学校
2019.11.30	京都府農林水産フェスティバル2019	京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)



こども支援プロジェクト



資金・食品調達

学校給食のない長期休暇中に、就学援助受給世帯に食品を直接送付することも支援プロジェクト。2年目となる今年度も、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成を受けて実施しました。送付食品は、コストコホールセールジャパン株式会社京都八幡倉庫店様をはじめ、企業・団体・個人からの寄贈品を用いたほか、栄養バランスを考え、寄付金で購入した食品も加えました。



出荷作業

昨年度と同様、京都府立京都八幡高等学校のご協力を得て、同校教室をお借りしてボランティア部の皆さんと一緒に作業を行いました。また今年度は新たな試みとして、出荷作業へのスポット参加のボランティアも募集。サッカークラブ「おこしやす京都AC」の皆さんをはじめ、多くの方々にご協力いただきました。



基盤強化のためのご支援

こども支援プロジェクトを行う2HKのためにと、京都府共同募金会様より玄米保冷庫、無停電電源装置、PCなど多くの機材導入をご支援いただきました。こども支援プロジェクトとフードバンク活動とのシームレスな基盤強化につながるもので、大変助かりました。こうしたご支援を糧に、次年度はさらに対象を拡大して実施する予定です。

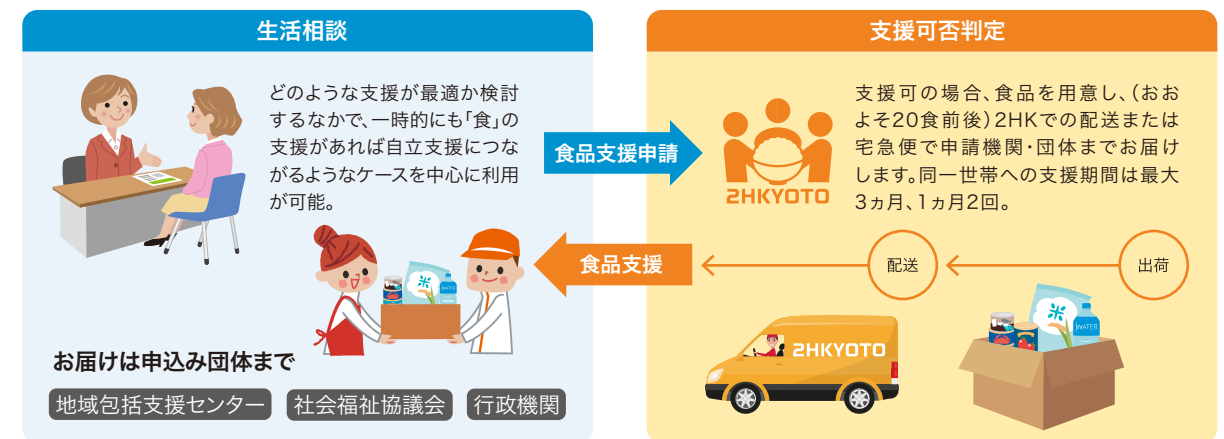


食のセーフティネット



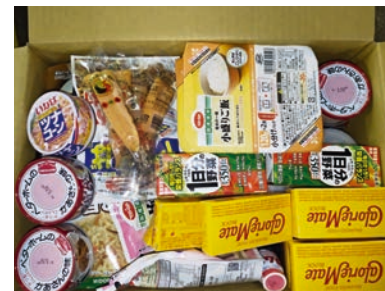
緊急支援の状況

2HKでは、従来から行政や支援団体を通じて生活困窮者に食品を提供する「緊急支援」を行っていますが、格差の拡大、単身高齢者の増加、ひきこもりの長期化・高齢化などを背景に、そのニーズは年々拡大しています。2HKに支援要請のあった団体(行政福祉窓口、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど)も、2期の8団体に対して3期は16団体と倍増している状況です。



別事業として

こうしたなか2HKは、公益財団法人公益推進協会を通じて「ダニエル・ブレイク基金」の助成を受け、従来はフードバンク活動の一環として行っていた緊急支援を、2019年9月より「食のセーフティネット事業」として独立させました。同基金は、映画『わたしは、ダニエル・ブレイク』の収益の一部をフードバンクなど貧困に苦しむ人々を援助する団体に助成するもの。2HKではこの助成金を食品の購入、配送費用などに充て、本年度、延べ238名に1.7トンの食料支援を行いました。



活動報告
5 周知広報



なくそう食品ロスキャンペーン

食品ロス削減の重要性についての認知度向上のため、公益財団法人京都環境保全活動推進協会の助成を受け、ラジオキャンペーンや「出前授業」用のパンフレット制作を実施しました。小中学校での出前授業は来期実施予定です。



講演会等

年月日	内容	会場
2019. 1. 7	京都府立大学 環境配慮型生活学研究室「環境政策論」	京都府立大学
2019. 2. 6	左京区地域ごみ減量推進会議「学習会」	左京区総合庁舎
2019.10. 1	右京区長 北川洋一氏主催「区長カフェ」	右京区総合庁舎
2019.11.27	農林水産省 近畿農政局 「フードバンク活動促進に向けた キャンパスプラザ京都 情報交換会in京都」	キャンパスプラザ京都



パブリシティ

年月日	媒体	内容
2018.12.16	毎日新聞(京都版)	子ども支援プロジェクトの紹介
2019. 1.13	毎日新聞(京都版)	子ども支援プロジェクトの紹介
2019. 6.22	毎日新聞(京都版)	子ども支援プロジェクトの紹介
2019. 7.18	KBS京都ラジオ	「さらピン!キョウト」 理事長出演、食品ロスと子ども支援プロジェクトの紹介
2019. 7.20	KBS京都ラジオ	「羽川英樹の土曜は旅気分」 理事長出演、子ども支援プロジェクトの出荷作業の紹介
2019. 7.26	朝日新聞(東京版)	2HKの子ども支援プロジェクトの取り組みの紹介
2019. 8. 3	リビング京都	食品ロス削減のためのフードドライブ活動
2019. 8.14	KBS京都ラジオ	「さらピン!キョウト」 理事長出演、食品ロスと子ども支援プロジェクトの紹介
2019. 9.29	KBS京都ラジオ	「久米村直子のSuper Duper Sunday ~京都岡崎であいいきいき!スペシャル!」 理事長出演、食品ロスと子ども支援プロジェクトの紹介



今後の課題

2019年5月、食品ロスの定義や削減に向けた基本方針、施策などを定めた「食品ロス削減推進法」が関係各位の尽力により可決成立し、10月に施行されました。現在、同法に基づき設置された「食品ロス削減推進会議」で基本方針が策定されており、フードバンク活動の支援の必要性も謳われていますが、国内フードバンク団体の共通課題である組織基盤強化(運営費、インフラ整備など)については具体的な言及がありません。2HKでは今後も全国フードバンク推進協議会と連携して、フードバンクが制度として成り立ち、社会的役割を果たせるよう微力ながら努めてまいります。



写真上左=公明党食品ロス削減推進PTへの政策提言(2018年4月) / 上中=全国フードバンク推進協議会主催の緊急院内集会(2018年6月) / 右上=全国フードバンク推進協議会の米山けい子代表 / 写真下左=食品ロス削減推進法案、衆議院通過(2019年5月16日) / 下中=同法、参議院で可決成立(2019年5月24日) / 右下=国内フードバンク活動の推進に関する要望書提出(2020年2月)



Special Thanks!!

助成

京都ライオンズクラブ／公益財団法人福祉医療機構／公益財団法人京都オムロン地域協力基金／公益財団法人京都府共同募金会／京都市／公益財団法人公益推進協会(ダニエル・ブレイク基金)／公益財団法人京都市環境保全活動推進協会／公益財団法人京都地域創造基金

資金寄付

株式会社旭商会／京都生活協同組合／特定非営利活動法人こころのはな／三洋化成工業株式会社／株式会社島津製作所／星和電機株式会社／株式会社ローレル京都個人31名

食品寄贈

三洋化成工業株式会社／品川インターシティマネジメント株式会社／株式会社松風／京都トヨペット株式会社／株式会社SCREENビジネスエキスパート／アルフレッサファーマ株式会社／弁護士法人伏見総合法律事務所／一般財団法人日本非常食推進機構／ならファミリー管理事務局／特定医療法人桃仁会病院診療所／一般財団法人日本バプテスト連盟医療団 総合病院 日本バプテスト病院／学校法人龍谷大学 農学部／近畿経済産業局／京都市京都マラソン実行委員会事務局／京都府／嵐山子ども食堂／特定非営利活動法人happiness／おてらおやつクラブ 宝塔寺 本田義純様／おてらおやつクラブ 西岸寺／おてらおやつクラブ 浄土宗 念佛寺／京都聖三一教会 大岡 創／株式会社宮田／コストコホールセールジャパン 京都八幡倉庫店／株式会社ローソン／日本ケロッグ合同会社／マルコメ株式会社／明治ホールディングス株式会社／日本蜂蜜株式会社／大倉産業株式会社／北白川ごみ減量推進会議／川東学区地域ごみ減量推進会議／吉田学区地域ごみ減量推進会議／元町ごみ減量推進会議／聖護院学区ごみ減量推進会議／修学院第二ごみ減量推進会議／葵地域ごみ減量推進会議／下鴨地域ごみ減量推進会議／左京区地域ごみ減量推進会議／北区地域ごみ減量推進会議／特定非営利活動法人フードバンク山梨／京都フードセンター(ハートピア京都)／NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン 他匿名希望企業2社、個人59名

ボランティア

フードバンクデリバリー、フードドライブ受付、倉庫内作業(食品仕分け、精米、リパックなど)、経理事務、子ども支援プロジェクト出荷作業など、さまざまな作業にご協力いただきました。
【ボランティア延べ人数355名、稼働時間1,401時間】

—ご支援ご協力ありがとうございました。



お願いしたいこと

食品の寄付

白米・玄米、加工食品、調味料、飲料など、ご家庭で余った食品の寄贈をお願いします。宅配便で下記住所へお送りいただくか、直接倉庫へお持ち込みください。

【住所】 〒611-0041 京都府宇治市槇島町中川原125
大倉産業株式会社物流倉庫内

【宛先】 NPO法人セカンドハーベスト京都 槇島SY
詳しくは → <https://www.2hkyoto.org/>食品の寄贈をする

お金の寄付

食品を無償で提供するフードバンクは、皆様の寄付金によって支えられています。食品配送のためのガソリン代、宅配料、倉庫賃貸料など、運営費用のご寄付をお願いします。

詳しくは → <https://www.2hkyoto.org/>お金の寄付をする

時間の寄付

ボランティアとして活動を支えていただける方を募集しています。デリバリー(食品配送)、フードドライブ(設営、食品回収など)、子ども支援プロジェクトなど。

詳しくは → <https://www.2hkyoto.org/>活動に参加する

フードドライブへの協力

学校やお店、イベント会場などでフードドライブに取り組んでいただける方を募集しています。

のぼり旗や展示パネルの貸し出しも行っています。
詳しくは → <https://www.2hkyoto.org/>フードドライブについて

情報の拡散

ホームページのほか、FacebookやTwitterでも日々の活動について情報発信しています。
ぜひご覧いただき、ご家族ご友人にも2HKの取り組みをご紹介ください。



活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都

自 2018年12月 1日 至 2019年11月30日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	69,000		
賛助会員受取会費	50,000	119,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		2,016,892	
【受取助成金等】			
受取助成金		8,219,681	
【その他収益】			
受取 利息	1		
雑 収 益	26,600	26,601	
経常収益 計			10,382,174
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	1,435,555		
法定福利費(事業)	29,838		
人件費計	1,465,393		
(その他経費)			
業務委託費(事業)	929,126		
食品購入費(事業)	479,915		
印刷製本費(事業)	404,580		
旅費交通費(事業)	10,560		
車 両 費(事業)	102,214		
燃 料 費(事業)	170,909		
高速道路代(事業)	17,630		
通信費(事業)	399,224		
消耗品 費(事業)	972,308		
事務用品費(事業)	55,330		
荷造運搬費(事業)	558,189		
地代 家賃(事業)	940,585		
賃 借 料(事業)	174,691		
減価償却費(事業)	222,191		
保 險 料(事業)	35,885		
広告宣伝費(事業)	86,265		
支払手数料(事業)	103,489		
雑 費(事業)	14,600		
その他経費計	5,677,691		
事業費 計		7,143,084	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
印刷製本費	725		
旅費交通費	580		
通信費	116,762		
消耗品 費	39,202		
地代 家賃	55,000		
賃 借 料	8,008		
諸 会 費	11,806		
事務用品費	31,772		
租税 公課	2,850		
支払手数料	43,839		
その他経費計	310,544		
管理費 計		310,544	
経常費用 計			7,453,628
当期経常増減額			2,928,546
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			2,928,546
当期正味財産増減額			2,928,546
前期繰越正味財産額			3,008,542
次期繰越正味財産額			5,937,088

貸借対照表

特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都
全事業所

【税込】(単位:円)
2019年11月30日 現在

	《資産の部》	
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	369,402	
普通預金	5,131,067	
現金・預金計	5,500,469	
(棚卸資産)		
貯蔵品	100,000	
棚卸資産計	100,000	
流動資産合計		5,600,469
【固定資産】		
(有形固定資産)		
什器備品	624,801	
有形固定資産計	624,801	
固定資産合計		624,801
資産合計		6,225,270
	《負債の部》	
【流動負債】		
未払金	288,182	
流動負債合計	288,182	
負債合計		288,182
	《正味財産の部》	
前期繰越正味財産	3,008,542	
当期正味財産増減額	2,928,546	
正味財産合計	5,937,088	
負債及び正味財産合計		6,225,270

財 産 目 録

特定非営利活動法人セカンドハーベスト
全事業所

[税込] (単位: 円)
2019年11月30日 現在

【流動資産】

(現金・預金)

現 金

369,402

WAM現金

(349,974)

一般現金

(19,428)

普通 預金

5,131,067

WAM京都銀行

(3,209,036)

ゆうちょ銀行 (振替)

(1,398,810)

ゆうちょ銀行 (総合)

(523,221)

現金・預金 計

5,500,469

(棚卸資産)

貯 蔵 品

100,000

棚卸資産 計

100,000

流動資産合計

5,600,469

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品

624,801

有形固定資産 計

624,801

固定資産合計

624,801

資産合計

6,225,270

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

288,182

流動負債合計

288,182

負債合計

288,182

正味財産

5,937,088